

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

15.6.17
週報第543号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第24週(6/8~6/14)※	
	発生数(人)	前週との比較
インフルエンザ	1	↗
感染性胃腸炎	44	↘
溶連菌咽頭炎	40	↗
手足口病	1	↗
水痘	0	→
伝染性紅斑 (リンゴ病)	0	→
流行性耳下腺炎	0	↘
突発性発疹	5	↗
咽頭結膜熱	9	↘

※「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による
※「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

(参考) 秋田県の状況 ※ 第23週(6/1~6/7)
<全県の発生状況>
1位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より16%減少)
2位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より微増)
3位: 咽頭結膜熱 (全県で前週より21%増加)
4位: 流行性角結膜炎
5位: 突発性発しん
横手地域 警報 溶連菌咽頭炎
県内 警報・注意報 ありません

横手地域・学校欠席者情報(6/15)

疾患名	感 染 性 胃 腸 炎	イ ン フ ル エ ン ザ	水 痘	マ イ コ ブ ラ ズ マ	お た ふ く か ぜ	溶 連 菌 咽 頭 炎	手 足 口 病	咽 頭 結 膜 熱
施設 (数)								
保育所・園 (35)	7			7		3	1	
小学校 (22)				2		3		
中学校 (8)		1						
高校、他 (7)								

ヒトメタニューモウイルスによる呼吸器感染症

いわゆる“かぜ”症状を引き起こすウイルスですが、秋田県感染症情報センターの報告によると、県内でこのウイルスによる呼吸器感染症が多いようです。

症状など

高い熱と激しい咳が特徴。
症状がおさまってきても、咳や鼻汁から周囲に感染を
拡げるおそれがある、しばらく続くようです。
特別な治療薬はありません。予防が大切です。

対策

インフルエンザの場合と同様です。
*症状がある人は受診し、医師の指示に従って
まわりに感染をひろげないようにしましょう。
*普段からの手洗いが大変重要です。
*皆が使う物やさわる場所のこまめな消毒も大切です。